

平成 29 年 2 月 24 日

平成 28 年度東洋学研究情報センター機関推進プロジェクト実施報告書

1. プロジェクト名：東洋文化研究所所蔵漢籍目録増補のための基礎作業

2. 申請研究者

(氏名) 大木 康 (東京大学東洋文化研究所・教授)

共同研究者

(氏名) 高橋智 (慶應義塾大学ス道文庫・教授)

住吉朋彦 (慶應義塾大学ス道文庫・教授)

3. 研究期間平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

4. プロジェクトの趣旨、全体計画 (400 字程度)

東洋文化研究所所蔵漢籍目録に収録されている漢籍は、2001 年までのものであって、2002 年以降は、東京大学 OPAC、CiNii Books などのデータベースで検索できるようになっている。検索ができないわけではないものの、3 種類のデータベースを検索しなければならないことははなはだ不便である。また、東洋学研究情報センターの業績審査において、この部分のデータ件数が増えていないことも指摘されている。

漢籍目録データベースの増補にあたっては、最初の段階として、データをテキストファイルの形式で入力した基礎データを作成し、それを台湾の漢珍会社に依頼して、加工を加え、インターネットにのせている。このプロジェクトは、このテキストファイルデータ作成の基礎的作業を行うことである。

5. 今年度の研究実施状況 (400 字程度)

作業にあたっては、2 名の大学院生のアルバイトによって作業を進めた。3 月 31 日現在において、約 1800 件の入力が完成している。

漢籍目録データベースの増補にあたっては、テキストファイルの形式で入力した基礎データを作成し、それを台湾の漢珍会社に依頼して、加工を加え、インターネットにのせてもらう必要がある。3 月 30 日、これまでに完成したテキストデータを持って台湾の漢珍公司に行き、データチェックと打ち合わせを行った。

6. 今年度の研究成果の概要 (400 字程度)

2002 年以降に本所で受け入れた漢籍は、約 3700 件である。そのなかには、叢書など子目データの作成を要するものもあるので、新規に入力を必要とするデータ件数は、おおむね

10000 件と考えられる。

作業にあたっては、2 名の大学院生のアルバイトによって作業を進めた。3 月 31 日現在において、約 1800 件の入力 completed している。入力したデータを漢珍会社のプログラマーに見てもらったところ、特に大きな問題はなく、作業完成後、ただちに同社のシステムに載せ、漢籍目録にデータを加えられる状態になっていることが確認された。